

コウモリ目（翼手目）ヒナコウモリ科

ホンドノレンコウモリ

Myotis nattereri (Kuhl, 1818)**【選定理由】**

全国的に生息洞・生息数はきわめて少ない。県内では、毎年秋から冬にかけて1～数頭が目撃されていたが、現在は見る事ができない。

【概要】

ヨーロッパ西部からアフリカ北部・アジア東部などに分布。国内では北海道・本州・四国・九州に分布。冬眠は、洞穴の壁面にあるくぼみやクラック・発破の穴などで単独で行う。

島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【県内での生息地域・生息環境】

過去、県中部の使われていなかったトンネルで、毎年9月に1～5頭が目撃できたが、1998年頃からはトンネルが改修され使用されるようになり見られなくなった。

【存続を脅かす原因】

生息洞穴の環境の変化と破壊。洞穴周辺の森林破壊。生息洞への不用意な入洞。農業等の体内蓄積も懸念される。

ネズミ目（齧歯目）リス科

ニホンリス

Sciurus lis Temminck, 1844**【選定理由】**

過去の狩猟統計に「リス類」の捕獲記録が見られるが、ニホンリスか否かは不明。過去の生息や、県内に現在も生息しているかは不明。

【概要】

日本固有種。本州・四国に広く分布するが、現在は九州での生息確認はない。平地から亜高山帯にまで分布し、低地では松林などを好むとされるが、照葉樹林の動物ではないらしい。昼行性で、早朝と午後に活動する。ドングリやクルミなど堅果類やマツの実などの果実や種子を

島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：絶滅のおそれのある地域個体群（中国地方以西のニホンリス）LP

好んで食べる。

【県内での生息地域・生息環境】

国内での分布状況から推察すると、県内からは比較的近年になって人為的な原因によって減少又は消滅した可能性がある。

【存続を脅かす原因】

狩猟、森林破壊等。